

製品名: CD11b ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86539

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.09mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:127 kDa; Observed MW:170 kDa

抗原情報

遺伝子名	CD11b
別名	CR3A; MO1A; CD11B; MAC-1; MAC1A; SLEB6
遺伝子 ID	3684
SwissProt ID	P11215
免疫原	ヒト CD11b の合成ペプチド

背景

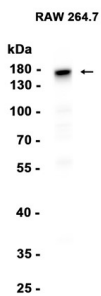
この遺伝子はインテグリン α M 鎖をコードします。インテグリンは、 α 鎖と β 鎖からなるヘテロ二量体の膜貫通タンパク質です。こ

のIドメインを含む α インテグリンは、 $\beta 2$ 鎖 (ITGB2) と結合して、マクロファージ受容体1 (「Mac-1」) または不活性化C3b (iC3b) 受容体3 (「CR3」) と呼ばれる白血球特異的インテグリンを形成します。 $\alpha M\beta 2$ インテグリンは、刺激を受けた内皮細胞への好中球および単球の接着、ならびに補体被覆粒子の貪食に重要です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq提供、2009年3月]

研究分野

-

画像データ



CD11b ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して RAW264.7 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。